

会議名	第2回地域計画分科会		公開
日時	令和2年8月17日(月) 午後7時30分～午後9時00分	場所	一鍬田公民館 2階 集会室
出席者	(委員) 伊田雅美、渡邊公美、小林勝則、井上こずえ、滝川多嘉子、 田中純子		
	(事務局) 自治振興課：加藤課長 自治振興事務所：松井所長、森下主事		
欠席者	(委員) 柿野秀夫、山本いづみ	傍聴者	0名
配布資料	次第、地域計画の今後を考えるにあたって		

議題・議事・発言等（要点記録）

1 開会

分科会長が挨拶を行い、本日の分科会成立の報告及び会議録署名人の指名を行った。

2 議事

・ 地域計画の今後を考えるにあたって

地域計画分科会長が地域計画の今後を考えるにあたっての意見をまとめた資料を委員へ配布し、説明を行った。

分科会前に地域計画分科会長から委員それぞれが考えてきた意見を出し合った。

（各委員が出し合った意見については、写真のとおり。）

各検討項目で共通して出た意見としては、課題解決に向けた団体をつくる、課題解決に向けた仕組みをつくる、であった。

また、地域計画の推進を図るとして、各柱ごとに具体的なイメージを持たせることも必要という意見も挙げられた。

次回の分科会で、柱ごとに挙げられている計画をどう実行するかを検討することとなった。

3 その他

・ 次回の地域計画分科会について

話合いの結果、次回の分科会を令和2年9月16日(水) 19時半から一鍬田公民館2階集会室で開催することとなった。

4 閉会

Q1. 何が必要

- 人との関わりが大切。地域との関わりが必要
- 婦人会のようなものを復活させる。
↳ 役や長をやるのが負担。市まで出ていく。役をやるのが苦痛。
地元ではなら...
- 元気で楽しく
↳ 耕作放棄地を活用する制度。何かできないか?
• 働く場所 (若い人が市外へ) ... 定年になっても戻って来れない
• 病院 ... 高度治療へつなげる
- 川や南側が追いついていない?
住宅が建つと良い。⇒ できる方法 客観的に方法を伝える
- 各地域でやることがある。話合っていること。話し合い組織を築く。
(有償) 草刈り
- 日常生活が楽しめる。

できること。

- お話すること。
- お手伝い
- 託児のお手伝い
- 勤労奉仕 (公民館維持管理)
(道路の草刈り)
- 問題やアイデアがあがってきたら
それについて考える。
- 人の話を聞くこと。つなげること。

農業: 本質 働く人がいない。

地域でまわって、1つのものを

若い人が農業をやらない。

プランどつくり

空いた農地を調べる。⇒ 農業委員会。

Q2. 実行

- 地域計画を理解しているか?
- 計画について。どこまで進んでいくべきか? 地域で進めたいのか?
- 計画の意義を伝える
- 活動者への応援
- 活動者の敬遠意識改革。リーダーの責任について

活動する人。資金支援のしくみ

- 計画をみんなに知らせる。
- 各種団体の取組みの紹介
- 全体で話し合った方がいい。
- 各地区ごとに課題解決しているような
団体をつくる。上手くいく地区ができれば、
他地区へも波及。
- できることから実行する団体をつくる。
- 交通 手付けに事業をどう進めるか?
(仕組み?)
• 「仕組み」をつくる。⇒ 活動団体をつなげる。
各自主防災会をつなげる団体
- 得意分野を持つ方を中心にして活動していく

次回 柱ごとにあがっている計画を、実行するの?

柱ごと。

具体的なイメージで投げかける

地区ごとに草刈り団体

ハコが向かいに11方向... 柱

目標 運営費の保証がなくても困らない
(例) 既存の交通に代わしくつなげる

団体が課題解決できるしくみをつくる。

↓
「団体が活動する」

気軽に健康相談 = 専門家

↳ 協議会

実行部隊